



私たちのキーワード

通信の空白エリアでもLoRaネットワークで インフラを補完し画像による遠隔監視を実現

エヌエスティ・グローバル리스트株式会社

遠隔地に行かなくても現場の状況を把握でき 通信障害を管理するクラウドシステムを開発

テーマ

国土強靱化とBCPに備える 画像・センサーIoTサービスの提供

事業内容

創業は1997年7月。以来、めまぐるしく進化、変化する生活環境や通信環境にあっても、「挑戦」の言葉を社是に、OAサプライ品販売、システム開発、ヘルスケア、デジタルサイネージ、太陽光発電EPC、そして本事業のIoTと、さまざまなIT分野を手掛けています。「世の中に無い、無ければ作る」を忘れず、技術とアイデアで生み出したSpreadRouterシリーズでIoTに挑戦し続けています。



(左)次長・開発担当：森田 真祐さん (中)事業部長：坂本一輝さん
(右)開発担当：清水 一樹さん

携帯電波の届かないエリアでも 画像による遠隔監視を可能に

LoRa通信は少量データに適した無線通信方式の一種。エヌエスティ・グローバル리스트は自社のLoRa製品を利用したセンサーデータの可視化サービスを、すでに自社ソリューションサービス(SR-APPEAR)としてリリースしてきました。一方で、「携帯電波の届かないエリアでも画像による遠隔監視ができないか」という現場の声も多く寄せられていました。この実現を模索していたところ、本事業を知り申請を決めました。「ソフトウェアの開発にかかる人件費や展示会など販路拡大にかかる費用も助成対象になるのが魅力でした」とスマートIoT事業部長の坂本さんは話します。



エヌエスティ・グローバル리스트社製の電源ボックス。SpreadRouter-SOLAR 太陽光+バッテリーを担い、屋外運用には欠かせません。

画像データ監視ソリューション 「SR-IMAGE」をリリース

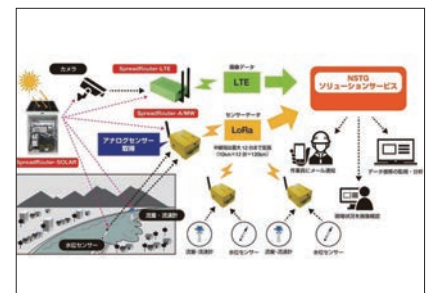
エヌエスティ・グローバルリストはLoRa通信を使い、大量データの画像転送を実現。今まで困難とされてきたLoRa(LPWA)による大量データ通信プロトコルの開発で、遠隔地に行かずに現場の状況把握を可能にしました。さらに現場では電源確保が課題になりますが、「鉛バッテリーの劣化監視」も開発。バッテリーの交換時期目安が事前に分かることで、メンテナンス作業の手配計画が立てやすくなり、作業の効率化や人件費削減にも貢献。これらの新規開発で新たな画像データ監視ソリューション「SR-IMAGE」をリリースしました。



各拠点の画像を一覧で表示。黄色で表示されている部分はセンサー異常を検知した拠点です。

現場の声や実際に見たことを サービスや製品の開発に活かす

携帯インフラの届かない中山間部での河川監視や設備監視を可能にする「SR-IMAGE」開発の過程では、クリアしなければならない課題もありました。「画像データ欠損時のリカバリーは、広大なエリアをLoRaのインフラでカバーするのは難しいため、通信設計には多くの時間をかけました。また、ロケーションによってはLoRaの多段中継も必要となるため、現場に応じた通信設定ができる仕組みを取り入れました」と坂本さんは振り返ります。現場の声や実際に見て感じたことを開発に活かしてきた坂本さん。これからも現場志向を忘れず、新たなサービスや製品に取り組んでいきたいと意欲的です。



各地に設置してある監視局の定点カメラの画像データから、監視局の異常検知を通知し通信障害を管理します。

会社概要

■所在地：東京都豊島区西池袋三丁目1番15号 西池袋TSビル9F ■TEL：03-5949-4711
■URL：https://www.nstg.co.jp ■代表取締役：山本直 ■設立：1997年7月 ■資本金：89,775千円